

長期療養型施設における COVID-19 感染予防と制御に関するガイダンス

暫定ガイダンス 2021年1月8日 改訂版

原文（英語）：

Infection prevention and control guidance for long-term care facilities in the context of COVID-19

Interim guidance

8 January 2021

https://www.who.int/publications/i/item/WHO-2019-nCoV-IPC_long_term_care-2021.1

この文書は、2020年3月21日に公開されたガイダンスの更新であり、次のような新しいエビデンスとガイダンスが含まれている。

- 新たに出版された研究により更新された内容：
 - 長期療養型施設（LTCF）の居住者とスタッフの間のSARS-CoV-2感染の疫学と広がり
 - LTCFでのSARS-CoV-2感染を防ぐための感染予防および管理（IPC）予防策の有効性
 - IPC予防策が高齢者、特に認知症やその他の精神・神経障害のある人々の、精神および肉体的健康とウェルビーイング（幸福）に与える影響
- SARS-CoV-2の蔓延を防ぎ、LTCFでCOVID-19が疑われる又は確定された患者の介護者、および医療従事者を保護するためのIPC予防策に関する最新のアドバイス
- LTCFの居住者とスタッフの間でのSARS-CoV-2の早期発見と検査に関する助言
- LTCFへの訪問者のための方針に関する助言と、COVID-19下において実施された制限とIPC予防策が与える、精神的および肉体的健康への影響を最小限に抑えるための追加の考慮事項

主なポイント

- LTCF は、居住者やスタッフ間で COVID-19 を感染させる・感染させ合うリスクの高い環境である。これらの施設の居住者は、高齢者のことが多く、基礎疾患や機能低下を有する可能性が高いため、重篤な病状や死亡を引き起こすリスクが高い。COVID-19 の早期発見、すべての従業員、居住者、訪問者に行う適切な IPC トレーニングと教育、適切な IPC 指針と措置を一貫して実施することで、LTCF の居住者、

スタッフ、介護者の間で **SARS-CoV-2** が感染するリスクを大幅に減らすことができる。

- **IPC** 措置は、居住者とスタッフの精神的および肉体的健康に影響を及ぼし、その結果、彼らのウェルビーイングに影響を与える可能性がある。特に、個人用保護具（**PPE**）の使用、訪問者およびグループ活動の制限が関連する。

したがって、**COVID-19** から居住者、訪問者、スタッフを適切に保護しながら、思いやりと敬意をもって、人（患者）を中心としたケアを一貫して提供する必要がある。

- **COVID-19**のパンデミックに関連して、**SARS-CoV-2**感染が居住者やスタッフの間で発生したかどうかに関係なく、**LTCF**では以下の重要な**IPC**指針と措置を実施する必要がある。**LTCF**がすべきことは、
 - **IPC**プログラムとチームまたは少なくともトレーニングを受けた**IPC**中心人物を確実に設定する。
 - すべての居住者に標準的な**IPC**予防策（特に[WHO five moments](#)に応じた適切な手指衛生、施設全体の徹底的で定期的な清掃と消毒）および必要に応じて**SARS-CoV-2**感染経路に準じた予防措置を実施する。
 - **COVID-19**が市中感染、あるいはクラスター感染を起こしたことが既知または疑わしい地域では、すべての医療介護従事者（**HW**）、家族などの介護者、その他の専門家、訪問者、サービス提供者、および居住者全員にマスクを装着させるユニバーサルマスクングを実装する。
 - **COVID-19**の散発的感染が知られている又は疑われる地域では、医療提供を行う場所の**HW**に対象を絞った上で、継続的にマスク装着を励行する。
 - 人と人の間の物理的距離を確保する。
 - **LTCF**の適切な換気を確保する。
 - 居住者とスタッフに、インフルエンザと**COVID-19**の予防接種を、および居住者には肺炎球菌の予防接種も行う。
 - **LTCF**への訪問者に**IPC**指針を実施する。
 - 十分な人員配置とスタッフ組織、適切な労働時間、および業務上のリスクからの**HW**の保護などを確実にを行う。
- **COVID-19**の早期発見を確実にするためには、以下の対策が重要である。**LTCF**がすべきことは、
 - スタッフと居住者への症候群サーベイランスおよび／または臨床検査を通じて、**HW**達の**SARS-CoV-2**感染を早期発見できるよう心がける。
 - **HW**達の**SARS-CoV-2**への曝露および感染の適切な管理を行う。
 - 居住者またはスタッフに**SARS-CoV-2**の陽性症例が確認された場合、すべての**HW**および居住者に検査を拡大する。

- 可能であれば、市中感染あるいはクラスター感染が認められる地域では、居住者がLTCFへの入所または再入所する時にSARS-CoV-2の検査を行う。
- 居住者がCOVID-19の疑いまたは確定症例として特定された場合、以下のIPC措置を直ちに実施する必要がある。LTCFがすべきことは、
 - 感染が疑われるまたは確定した居住者のケアを行う間は、接触、飛沫、および／または（必要に応じて）空気を介した感染に対する予防策を実施する。
 - 環境の清掃や消毒、廃棄物や洗濯物の管理などは感染予防のための特定の手順に従う。
 - COVID-19が疑われるまたは確定した患者を一人部屋に隔離するか、それが不可能な場合は他の患者と一緒にし、疑いのある患者と確定した患者は部屋を別々にする。
 - 医療従事者が患者の臨床評価を慎重に行い、特に高齢者や基礎疾患を持つなどの急激な病状悪化のリスク要因がある患者について注意を払い、適切な早期治療と急性期医療施設への転出の可能性についても評価を行う。
 - COVID-19が確認された患者の接触者全員を自室あるいは他の居住者から離れた場所に隔離し、患者との最後の接触から14日間観察する。
- COVID-19患者が死亡した場合には、安全な手順にしたがって遺体を管理する。

本文詳細は、[英語原文](#)をご参照ください。

WHOは本暫定ガイダンスに影響しうる変化がないか、継続して状況を注意深く監視する。何らかの要因に変化があった場合は、WHOは更新情報を発表する。何も変更がなければ、本暫定ガイダンスは出版された日から12か月後に無効となる。

© World Health Organization 2021. Some rights reserved. This work is available under the CC BY-NC-SA 3.0 IGO licence.

WHO reference number: WHO/2019-nCoV/IPC_long_term_care/2021.1